

## 目 次

### I. 総括研究報告

新型コロナウイルス感染症を踏まえたデュアルユース性が懸念される 公衆衛生研究の国際動向及び倫理規範・監督体制確立のための研究	-----	1
研究代表者 三成 寿作 (京都大学 iPS細胞研究所)		

### II. 分担研究報告

1. 生命科学に関するデュアルユースに関する分析	-----	4
研究分担者 木賀 大介 (早稲田大学 理工学術院)		
2. 感染症研究におけるデュアルユース問題に関する教材の開発研究	-----	7
研究分担者 花木 賢一 (国立感染症研究所 安全実験管理部)		
3. 研究のデュアルユース性に対する管理・監督等の制度・運用に関する研究	-----	10
研究分担者 河原 直人 (九州大学病院 ARO次世代医療センター)		
4. デュアルユース概念を社会と共に構築する能力育成に資する 想像 (imaginary) に着目した教育・コミュニケーション手法	-----	14
研究分担者 川本 思心 (北海道大学 大学院理学研究院)		
5. パンデミックのリスク評価とePPP作成に係るGOF研究の教訓、 デュアルユース問題の理解促進のための市民対話、 先進生命科学研究・感染症研究のガバナンスに関する提言案の作成	-----	18
研究代表者 三成 寿作 (京都大学 iPS細胞研究所) 研究協力者 四ノ宮 成祥 (防衛医科大学校)		

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	32
---------------------	-------	----

IV. 資料 / 提言 (案)	-----	33
-----------------	-------	----